

オール豊成のチームワークで『潮いと勢い』のある豊成小づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信



平成30年7月20日
NO.7 文責 小林



「豊成ジャンプ」目指せ！ 富士山・イグリスト・月・宇宙旅行！



保体部から提案された「豊成ジャンプ」。新体力テストで明らかになった豊成小学校の子どもたちの課題である「瞬発力」と「持久力」の向上を目的に取り組んでいます。最初は、10回跳ぶと1マス塗れる「目指せ！富士山」だったのが、今では100回跳ばないと1マス塗ることができない「目指せ！宇宙旅行」へと進化しています。適度な目標設定と、やる気を出させる上手な言葉掛けで、職員室には「豊成ジャンプ」の新しいカードをもらうために、たくさん子どもたちが来室しています。中には、授業中は控えめな子どもたちの姿も見られ、自分の「得意なこと」「肯定できること」を見つけて、生き生きしている様子うかがえます。

また、低学年では、取り組む中で「数を数える」ことが必要となってくるため、算数の復習にもなり、思わぬダブル効果！学力向上にもつながる大変素晴らしい取組となりました。

今回の取組が、何故ここまで子どもたちに受け入れられたのか？それは、先程も書いたように、「適度な目標設定」と「やる気を出させる言葉掛け」にあると思います。誰にでもできる内容と、ちょっと頑張ればゴールに辿り着くことができそうな気がする目標設定。また、友達と対等に競い合いながら取り組めることも、子どもたちのやる気に火をつけた要因だと思います。さらには、自己肯定感を高める言葉掛けが、子どもたちの「認められたい！」という思いを掻き立て、城石先生の所には、たくさん子どもたちが結果報告に来ています。その際に、全てを認め、平等に評価してあげる城石先生の対応が、子どもたちは、嬉しいのです。

「体力向上！体力向上！」と、ノルマを与え、結果だけを求めては、得意な子どもたちだけしか活躍できません。誰でも参加することができ、誰にでも達成感を味わえる取組こそが、本来の学びの姿なんだなあ・・・と改めて感じることができました。

先日行われたマラソンの取組も、新体力テストに向けた目標値の提示も、子どもたちが生き生きと活動する姿を保体部の先生方が想像しながら仕掛けた、子どもたちの「やる気スイッチ」を押す作戦の1つだったのです。

体力向上プロジェクト

学年	男子	女子	男子	女子
1	11.54	11.25	28.22	27.01
2	10.62	10.87	30.58	31.15
3	12.34	10.98	32.97	35.62
4	14.04	12.87	38.15	37.07
5	16.81	15.32	46.93	43.56



(各学年の全国平均を提示しました。)

(20分休みに全校児童でひと汗流します！)